

## 会 議 録

### 1 会議名

令和元年度第13回板倉区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### ・協議

（1）令和2年度地域活動支援事業の板倉区採択方針等（案）について

（公開）

（2）地域協議会活動報告会について（公開）

（3）次期地域協議会への引き継ぎについて（公開）

#### ・その他

### 3 開催日時

令和2年2月6日（木）午後6時00分から午後7時20分まで

### 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 3階 市民活動室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：平井達夫（会長）、小林良一（副会長）、北折佳司、上野きみえ、島田信繁、西田節夫、新井清三、古海誠一、古川政繁、増村眞一、徳永妙子、福崎幸一、長藤豊

・事務局：板倉区総合事務所 米持所長、笠松次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長、宮尾産業グループ長、隠田建設グループ長、石川教育・文化グループ長、村山地域振興班長、安原主事（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【笠松次長】

- ・会議の開会を宣言

### 【平井達夫会長】

- ・挨拶

### 【米持所長】

- ・挨拶

### 【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

4 協議 令和2年度地域活動支援事業の板倉区採択方針（案）について、事務局の説明を求める。

### 【嘉島総務・地域振興G長】

（資料により説明）

### 【平井達夫会長】

ただいまの説明について、質問や意見のある委員は挙手を求める。

### 【古川政繁委員】

小学校統合は板倉区全体の問題である。小学校の在り方について携わってきたので、古海委員の意見のとおり、地域協議会の判断で採択を決定すべきであると思う。

### 【西田節夫委員】

古海委員の意見はよくわかるが、今まで通りでよいと思う。項目を追加する必要はないと思う。

### 【上野きみえ委員】

板倉区全体という表現は閉校事業についてか。地域活動支援事業採択基準検討部会では、今回は宮島、山部、針小学校が開校するため、3校で話し合ってから提案してもらい、審査項目に合致すれば、地域協議会の審議で決めていくことでよいという意見であった。

【西田節夫委員】

今まで閉校した学校が寺野、筒方にあるが、閉校式は寄付金を集めて行っていた。閉校式はその学校区に任せるべきではないか。

【古海誠一委員】

寺野、筒方小学校が閉校したときは個人情報について厳しくなかったため、同窓生に簡単に連絡をすることができ寄付金が集めやすかった。今は個人情報の扱いが厳しくなり、寄付を集めづらいため、閉校記念事業の予算を組み立てづらい。小学校統合の問題は板倉区全体で取り組んできたことから、地域活動支援事業を利用できるようにするため、意見をした。

【長藤豊委員】

板倉区全体に係る事業とあるが、地域活動支援事業はそもそも板倉区全体に係る事業であり、審査項目として追加するとなると他の項目とかぶってしまう。閉校事業に対して文言を追加したいのであれば、もっと直接的な表現をすべきであり、このまま加えるとかえって判断しづらくなってしまうと思う。

【西田節夫委員】

豊原小学校は今回統合しないため、豊原校区の立場からみると少し違うと思う。豊原小学校がもし統合、閉校となったときに地域活動支援事業があるかわからない。後に何をやっていたんだという話にならないように、そこまで考えて慎重に協議してもらわないと困る。閉校事業は各校区に任せるべきであると思う。

【平井達夫会長】

様々な意見が出てきたところで、採決をとりたいと思う。

【西田節夫委員】

採決の前に一つ聞きたいが前回の地域協議会で各々の意見を考えてきてほしいと言ったが、皆さんの意見を聞いてから採決をした方がよいのではないか。

【嘉島総務・地域振興G長】

前回の地域協議会で意見のある方は事務局へ提出するよう依頼した。今この場でそれぞれ意見を言った方がよいと委員の皆さんが納得すればよいが、前回の進行からすれば、期限までに提出してもらった見直し案で審議してもらうこととなる。

**【平井達夫会長】**

期限までに提出してもらった意見は1件のみである。西田委員から皆さんに意見を出してもらいたいとのことであるが、皆さんはどのように考えているか。

(採決でよいとの声多数)

それでは採決を行う。

令和2年度地域活動支援事業採択方針は地域活動支援事業審査基準検討部会で検討した内容でよいと思う委員は挙手を求める。

(賛成多数)

令和2年度地域活動支援事業採択方針は検討部会の案のとおりとする。

(1) 令和2年度板倉区地域活動支援事業採択方針等(案)については以上とする。

次に(2)地域協議会活動報告会について、事務局に説明を求める。

**【嘉島総務・地域振興G長】**

(資料により説明)

**【平井達夫会長】**

活動報告会での報告内容について、各部長から報告を求める。

まず、総括は私が報告するので、報告内容を発表する。

(資料により説明)

**【長藤豊委員】**

今日この場では概略と聞いていたが、概略でも長いと感じた。もう少し手短にしてもらいたい。これから他の部会の報告もあるが、この場で説明する必要があるのか。

**【平井達夫会長】**

長さについてはこれから本番に向けて検討していく。あらかじめ報告内容を確認したうえで、本番に臨むのが筋であると思うので理解してもらいたい。

次に、地域振興部会から報告を求める。

**【西田節夫委員】**

(資料により説明)

【平井達夫会長】

続いて、健康福祉部会から報告を求める。

【徳永妙子委員】

(資料により説明)

【平井達夫会長】

続いて、産業建設部会から報告を求める。

【古海誠一委員】

(資料により説明)

【平井達夫会長】

最後に地域活動支援事業審査基準検討部会から報告を求める。

【上野きみえ委員】

(資料により説明)

【平井達夫会長】

ただいま各部会の座長から報告があったが、質問や意見のある委員は挙手を求める。

(意見なし)

意見等ないようなので、当日の配布資料は事務局の提案どおりとしてよいか。

(異議なし)

それでは各座長は資料に基づいて報告をお願いする。

(2) 地域協議会活動報告会については以上とする。

次に(3)次期地域協議会への引継ぎについて、事務局から説明を求める。

【嘉島総務・地域振興G長】

現在、地域協議会として自主的審議事項としているのは「板倉区観光振興の明確な方向付けについて」の1件のみである。これについては、関係者が集まって話し合いが現在も行われており、地域協議会も参加し、「地域を元気にするために必要な提案事業」の検討をしている。

また、審議は終わったが、板倉小学校については、設置推進協議会にオブザーバーとして参加している。県立有恒高校に関する問題については、関係者の協議がまとまった段階で必要に応じて協議していくこととしている。このほかに次期

地域協議会に引き継ぐ事項があれば協議をしてもらいたい。

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問や意見等のある委員は挙手を求める。

(意見無し)

意見等ないようなので、次期地域協議会に引き継ぐ事業としては、板倉区観光振興の明確な方向付けについて、板倉小学校設置推進委員会について、県立有恒高等学校についてとする。事務局は、次回までに本日の協議内容をまとめるよう求める。

(3) 次期地域協議会への引継ぎについては以上とする。

次に、5 その他に移る。事務局で報告事項はあるか。

**【嘉島総務・地域振興G長】**

前回の地域協議会で諮問のあった板倉地区公民館分館の廃止について、地域住民の生活に支障はないものとして答申をいただいた。その答申に対し、市の方針が決定したことから、資料のとおり回答があった。

本日も協議してもらったが、2月24日(月)の午後6時から地域協議会活動報告会を開催する。なお、都合が悪く報告会を欠席する場合は、2月20日(木)までに事務局へ連絡を求める。

今年度最後の地域協議会を3月25日(水)の午後6時から板倉コミュニティプラザで実施したいと考えている。活動報告会で発表する3団体以外の団体から令和元年度の地域活動支援事業の活動報告をしてもらうほか、本日協議した次期地域協議会への引継ぎについて協議してもらいたいと考えている。

本日の協議会終了後、勉強会を開催する。

また、上越市創造行政研究所からニュースレター及び連続フォーラムの開催案内チラシの送付があったので、配布した。

最後に、地域協議会委員のアンケートについて説明する。

このアンケートの目的は委員個人として感じている地域協議会の問題を浮き彫りにし、見直し・検討を進める機会とするほか、見直しを進めるうえでの基礎資料として良かった事例、改善点を把握し、次期協議会の運営にいかしていきたい。提出期限は3月25日(水)で最後の地域協議会開催日までに提出してもら

いたい。また、アンケートはその目的以外に一切使用しない。委員の皆様の率直な考えを聞きたいとの思いから、地域協議会として意見を集約するのではなく、委員個人を対象としている。また、設問についても選択式を中心としているが、「その選択肢を選択した理由」「どのような工夫が考えられるか」、設問ごとに「市に伝えたいこと」といった自由記載をする設問も設けている。また、このアンケートは、回答の内容を地域別、年齢区分別などさまざまな角度から傾向を分析したいと考えていることから、記名式としている。なお、具体的な提案をもらった時に、より詳しく話を聞かせてもらうことも想定している。地域協議会委員としての活動を振り返って、地域課題の把握方法について、議論の進め方等について、議論の結果の地域への貢献について、地域協議会委員の人材確保についての5項目あるが、4年間活動してもらった委員の声をぜひ聞かせてもらいたい。改選後の地域協議会にいかす形で進めていきたい。

**【平井達夫会長】**

他に、何かある場合は挙手を求める。

(なし)

- ・第14回地域協議会は、3月25日水曜日の午後6時から、板倉コミュニティプラザで開催
  - ・会議録の確認は増村眞一委員に依頼
- 以上で本日の日程を終了する。

**【平井達夫会長】**

- ・挨拶

**【笠松次長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141 (内線 123)

E-mail:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。